



REHACARE 2019 国際リハビリテーション・福祉・介護機材展
ファイナルレポート
2019年9月18日～21日 / ドイツ・デュッセルドルフ

REHACARE 2019 : 多数のイノベーションとアイデアが炸裂

38,600名のビジターがリハビリや介護の専門メッセ、**REHACARE**を訪問。世界**80**か国からビジターが参加し国際性は益々高まる



デュッセルドルフで毎秋開催される福祉・リハビリ機器などの国際見本市 [REHACARE 2019 \(国際リハビリテーション・福祉・介護機材展\)](#) は、介護福祉機器、リハビリ機器の高い専門性と国際性を示し、9月21日までの4日間にわたり開催された。高齢者、身体

障害者などのより良い自立生活を支援する製品、サービスがコンセプトの同展には、43か国から751の出展者、38,600名のビジターを集めて開催された。会期中はディストリビューターだけではなく、支援グループや行政、エンドユーザーやその家族も多数来場し、より有益な自立生活に向けた最新製品のチェックや情報収集、情報交換、商談を行った。

「REHACARE が高齢者や障害者の自立生活の向上と実現に大きく貢献していることは間違いありません。加えて同展の重要性は高まる国際性にもあります。REHACARE のビジターの 2/3 は海外からの来場でもあります。中小企業やスタートアップ、イノベーティブな製品の開発者や会社のオーナーなど、これら出展者が展示する多数の製品は、既に流通しているものから、間もなく販売となる新製品まで、自立生活に必要な介護、福祉製品、ソリューションを求める海外のビジターにも大きなインパクトとメリットを提供しました」と主催者メッセ・デュッセルドルフの取締役、W.ディーナーはコメントした。

ドイツの全国的な身体障害者の団体である連邦自助協議会（BAG Selbsthilfe）の専務理事である Dr. M.ダンナーは、REHACARE 2019 を介護、福祉機器やソリューションを求める人々に対し、幅広い知識や最新情報、画期的な最新製品を展示発表するプラットフォームとして高く評価した。同協議会の出展ブースでは医療分野の専門家を招き、自助グループや障害者とその家族との意見交換の場を用意し、活発な質疑応答も行われた。特に多く議論が交わされたのが、デジタル化が介護福祉や日常生活のサポートを必要とする人々にどのように進化し貢献していくかであった。この点について Dr. M.ダンナーは「デジタル化による介護福祉のより良い未来の創出には、現状の問題点と向き合い、新たなコンセプトを作り出す必要があります。その作業は REHACARE に展示されているイノベティブな製品やソリューションから産み出される可能性は十分にあると考えます」とコメントした。

REHACARE の今回のビジターは 80 か国と世界各国から参加者を迎えた。ビジターの関心度の高い製品は、高齢者、障害者向けの自立生活をサポートする製品が今回も挙げられ、特に自力移動である「モビリティ」や知覚障害者向けのスマートフォン・アプリなどへの注目度が高かった。これらを出展する出展者からもビジターからのポジティブなフィードバックが多かったとの声が聞かれ、ディストリビューターやバイヤーとの商談に手応えを感じる出展者も多数にのぼった。

日本から今回は 3 社の出展参加があり、ヨーロッパを中心としたマーケティングや幅広く全世界のマーケット開拓を目指しての展示や商談を行った。おおむね商談は順調で、継続した出展の重要性も出展者自身からもコメントされている。

そのうち 10 年連続で高機能性クッションを出展した株式会社加地は次のようにコメント。

「商談数は昨年に比べると少なかったが、その分ゆっくりと商談できる時間があった。パビリオンのようなブースを出している国が増え、コストのかかった綺麗なブースが増えている印象があり、ビジターにも好印象であったと思う。

REHACARE では、すでに取引のある会社の方とも商談できる良い機会になっており、今後も引き続き出展していきたいと考えている」





カーボン製脊髄損傷者用長下肢装具にて初出展の株式会社 **UCHIDA** のコメント。

「一般ユーザーが多く来場頂き非常に多くの期待やご意見を伺え有用な展示会となりました」

次回 REHACARE は 2020 年 9 月 23 日～26 日にデュッセルドルフで開催される。

REHACARE に関する日本でのお問い合わせは：

株メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：服部

Tel.03-5210-9951 Fax.03-5210-9959

mdj@messe-dus.co.jp <http://rehacare.co.jp>